## 令和4年度

## 社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告

新型コロナウイルス感染症の発生から3年目となった令和 4 年度は、ウィズコロナの考えの下、経済活動も少しずつ回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら、コロナ禍のなかで突然の減収や失業等により経済面で困窮した多くの人々の生活は、依然として厳しい状況が続いております。

このため、前年度と同様、生活に困窮された世帯への支援を重要課題とし、新しい生活様式に基づき感染拡大に留意しながら各種事業を実施しましたので報告いたします。

## 【重点目標に対する経過報告】

- ・生活困窮者への生活福祉資金の貸付け、新型コロナ特例貸付、相談支援等を継続して実施しました。
- コロナ禍に伴う支援を必要とする世帯への食糧品等の配布においては、市内の事業 所や個人、また様々なボランティアの協力のもと事業を実施し、住民同士の支え合 い活動の推進を図りました。
- ・災害ボランティアセンター運営訓練に際し、関係機関、災害時協定締結団体、社協 役員と共同で訓練を実施し、災害時における関係の強化に努めました。

## 【法人運営・管理】

#### 1. 総務部門

(1)理事会・評議員会等の開催

①理事会

回数	開催	会場	議事
1	令和4年 6月16日	下妻公民館	<ul> <li>・下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・下妻社協ケアセンター指定居宅介護等事業運営規程の一部改正について</li> <li>・下妻市心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・下妻市心身障害者福祉センター指定地域移行支援事業運営規程の一部改正について</li> <li>・下妻の推薦について</li> <li>・理事の推薦について</li> <li>・評議員候補者の推薦について</li> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度会計収入支出決算について</li> <li>・監事の監査報告について</li> <li>・定時評議員会の招集について</li> <li>・会長及び常務理事の職務執行状況について</li> </ul>

			<b>東カ加八の却件について「社会短地は」工事ませ</b>
2	令和5年 3月16日	下妻公民館	・専決処分の報告について「社会福祉法人下妻市社会福祉協議会職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について」 ・会長及び常務理事の職務執行状況について・令和4年度収入支出補正予算(第1号)(案)について・定款の一部改正について・処務規程の一部改正について・殉児・介護休業等に関する規程の改正について・育児・介護体業等に関する規程の改正について・育和5年度事業計画(案)について・令和5年度会計収入支出予算(案)について・役員等賠償責任保険契約の締結について
			・評議員会の招集について

# ②評議員会

回数	開催	会場	議事
1	令和4年 6月29日	下妻公民館	<ul> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度会計収入支出決算について</li> <li>・下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・下妻社協ケアセンター指定居宅介護等事業運営規程の一部改正について</li> <li>・下妻市心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・下妻市心身障害者福祉センターひばりの指定地域移行支援事業運営規程の一部改正について</li> <li>・理事の選任について</li> </ul>
2	令和5年 3月23日	下妻公民館	・専決処分の報告について「社会福祉法人下妻市社会福祉協議会職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について」 ・令和4年度会計収入支出補正予算(第1号)(案)について ・定款の一部改正について ・処務規程の一部改正について ・殉児・介護休業等に関する規程の改正について ・理事の選任について ・令和5年度事業計画(案)について ・令和5年度会計収入支出予算(案)について

# ③評議員選任 • 解任委員会

回数	開催	会 場	議事
1	令和4年 6月17日	下妻公民館	・評議員の選任について

#### (2)苦情解決体制の強化

施設内へのポスター掲示により、利用者への制度の周知を図りました。

事業所名	苦情件数	対応中件数	解決件数	未解決件数
砂沼荘	〇件	〇件	〇件	〇件
社協ケアセンター	〇件	〇件	〇件	〇件
ひばりの	〇件	〇件	〇件	〇件
事務局	〇件	〇件	〇件	〇件

#### (3) 広報 • 啓発活動

#### ①広報紙「ふくしものがたり」等の発行

紙面の構成や掲載写真等を工夫し、わかりやすく、関心を持っていただける紙面づくりに努めました。

※令和4年度より広報紙「ふくしものがたり」の発行回数を年6回から年4回に変更 しました

内 容	発行	配布先
社協広報紙「ふくしものがたり」	年4回 (274号~277号)	++^=
社協会員会費募集広報紙	年1回	市内全戸



社協広報紙「ふくしものがたり

# 

社協会員募集広報紙

#### ②ホームページ

見やすく分かりやすい情報の発信を心掛け、 ホームページの運営を行いました。



社協ホームページ

#### ③その他の広報

SNS(ツイッター)を活用し、下妻市の地域 福祉に関する情報を随時発信しました。



社協ツイッター

## (4)会員増強運動の実施

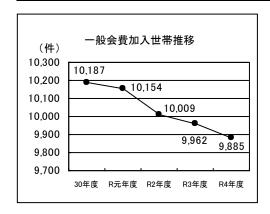
会費を財源とする事務事業を明確にした予算編成、執行管理を行いました。

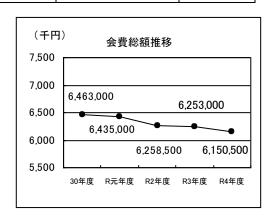
#### <説明会等の開催>

種類	開催	会 場	内 容	対象者
一般会費		ウイルス感染症拡大防 説明会の開催を中止 な頼)	取りまとめ依頼取扱説明	支部推進員
特別会費	5月27日	下妻公民館	以放配	支部代表者

#### <加入実績>

種類	会員数	会費額	目標額	達成率
一般会費	9,885世帯	4,942,500円	5,029,000円	98.2%
特別会費	230件	1,208,000円	1,252,000円	96.4%
計	_	6,150,500円	6,281,000円	97.9%





#### (5) 茨城県社会福祉大会における表彰

地域福祉の進展に資するため、市内福祉事業に功労のあった方や団体等に対し、 茨城県知事、茨城県社会福祉協議会会長及び茨城県共同募金会会長より表彰が行われました。

#### 〈第72回茨城県社会福祉大会における受賞者数〉

区分	人数
茨城県知事表彰	個人 5名
茨城県社会福祉協議会会長表彰	個人15名
茨城県共同募金会会長表彰	個人 2名

## 2. 労務管理部門

#### (1)職員研修の実施

社協の自主研修の他、下妻市役所、全国・茨城県社会福祉協議会等主催の研修会 に参加しました。

#### 研修内容

災害ボランティアセンター設置・運営訓練、「災害初動期対応チーム」メンバー 養成研修、第58回関東ブロック郡市町村社協職員合同研究協議会、第11回赤い 羽根全国ミーティング、全国福祉教育推進員研修 ほか

#### (2)ストレスチェックの実施

メンタルヘルス不調を未然に防止することを目的に、全職員を対象にストレスチェックを実施しました。(57 名実施)

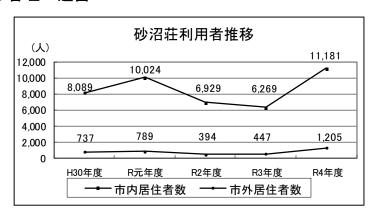
#### (3) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員や来所者の体温チェック・アルコール消毒を徹底しました。また、来客スペース等の消毒作業を毎日実施しました。

## 3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

①福祉センター「砂沼荘」

区分	利用者数
市内居住者	11,181名
市外居住者	1,205 名
計	12,386名



子供から高齢者まで利用できる健康増進施設として、下記の講座を開催しました。

講座名	開催日	延べ参加人数
親子リトミック	毎月 第4金曜日	55組 115名
健康体操教室	毎月 第 1・第 2・第 3 水曜日 第 2・第 3・第 4 火曜日	1,555名
シルバーリハビリ体操教室	毎月 第3 火曜日	110名
スクエアステップ教室	毎月 第 2・第 4 火曜日 第 2・4 水曜日	660名
脳(のう)活(い)きいき 教室	毎月 第 1 火曜日 第 1 水曜日	255名
男性のための脳トレ・筋トレ	毎月 第3水曜日	74名
健康マージャン教室	毎月 第 1・2・3・4 土曜日	108名
健康&美活・ヨガ教室	毎月 第4水曜日	211 名
		計 3,088名

0円

#### ②下妻市福祉センター「シルピア」

#### ③下妻市心身障害者福祉センター「ひばりの」

両施設の利用はありませんでした。

## 4. 災害・緊急支援事業

<火災見舞金>

く行路	Y.	旅	弗	\
\1J 眸i	へ	צונג	貝	/

件 数	金額	件 数	金 額	償 還
O件	O円	〇件	の円	OF:

#### 5. 共同募金関係

#### (1)共同募金運動への協力

社協が自主的に行う事業の重要な財源となっている 赤い羽根共同募金運動は、茨城県共同募金会との申し 合わせ事項に基づき、下妻市共同募金委員会の業務と して全面的に協力し事業を展開しました。



# 【地域福祉事業】

## 1. 相談支援•権利擁護部門

(1)心配ごと相談事業(市受託事業)

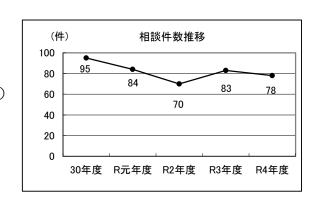
法律相談を毎月3回開催しました。

(内2回は相談予約なしのため未開催)

# く実績報告>

開 催	件数
年間34回 (第2·3·4火曜)	78件





#### <相談内容>

相談内容	延べ件数	相談内容	延べ件数
相続問題	26 件	職場	4 件
離婚問題	7件	子供の養育・親	6件
		権	
土地(不動産)	5件	財産	5件
金銭の貸し借り	5件	事故等	〇件
借金問題	4 件	架空請求	〇件
家族関係	5件	友人関係	〇件
住居問題	1 件	その他	13件
隣人関係	2件	_	_
		計	83 件

## (2)生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

- ①生活福祉資金貸付事業
  - 自立相談支援機関、茨城県社協と連携し低所得者世帯等の経済的自立と生活の安定を目的に必要な支援を行いました。(延べ相談件数 114 件)

	資金種類	昨年度末	新規	完済等	本年度末	滞納
1	福祉資金					
	福祉費	7	0	0	7	3
	緊急小口資金	4	0	0	4	4
2	教育支援資金					
	教育支援費	4	6	0	10	4
	就学支度費	4	7	0	11	3
3	総合支援資金					
	生活支援費	23	0	3	20	18
	住宅入居費	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	1	0	0	1	0
4	- 不動産担保型生活資金					
	一般世帯向け	1	0	0	1	0
	要保護世帯向け	1	0	0	1	0
5	臨時特例つなぎ資金					
	臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
	計 (件)	45	13	3	55	32

#### ②新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付(県社協受託事業)

- 令和 5 年度から本格的に始まるフォローアップ支援のための情報収集や専用パソコンを導入し、体制整備を進めました。
- 令和 5 年 1 月から償還がスタートしたことに伴い、免除や猶予等、償還に関する 相談が増加しましたが、4名体制で迅速な対応にあたりました。

#### く貸付実績>

資金種類	期間	件数	金額
緊急小口資金	R4.4.1~R4.9.30	10件	2,000,000 円
総合支援資金・初回	R4.4.1~R4.9.30	15件	7,700,000 円
計	25 件	9,700,000 円	

#### <フォローアップ支援業務実績>

	件数	
特例貸付、償還	延べ 190 件	
(株文山 ===	緊急小口資金	19件
<b>猶予申請</b>	総合支援資金・初回	18 件

#### (3)小口資金貸付事業

- 償還に遅れのある世帯に通知文の発送や電話、訪問等を行い、生活状況を把握しながら償還計画の見直しや他制度との連携を図りました。
- 昨年度と比べ9件、154,500円の貸付増、48件、355,589円の償還増となりました。

内容	件数	金額	完済件数
貸付	57 件	1,719,000円	ᄭᄼᄲ
償 還	106 件	1,048,089円	Z1 1 <del>+</del>

※R5.3.31 現在 未償還金額 5,069,911 円 (滞納分含む)

#### (4)日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

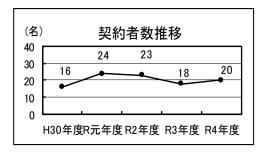
- 18 件の相談うち 5 件が新たに契約となり、専門員2名·生活支援員8名体制で延べ 308 回の支援を行いました。
- 各種研修会等へ参加し専門員·生活支援員の援助技術や専門性の向上を図ったほか、 令和5年度より予定している成年後見事業に関する情報収集を行いました。
- 近隣社協の情報交換会を開催し、意見交換等を通じて今後の活動に向けたネットワーク作りを行いました。(6 市町 13 名参加)
- ・社協発行の広報誌に紹介記事を掲載し、本事業への理解、利用促進を図りました。

#### <研修会・会議への参加>

開催日	内容
5.27(金)	市町村セミナー(厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 成年後見制度利用促進室)
7.6(水)	成年後見制度担当者研修会 (茨城県/社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会)
7.22(金)	日常生活自立支援事業新任専門員研修会社会福祉法人(茨城県社会福祉協議会)
8.9(火)	医療・福祉・介護職のための成年後見制度研修会(下妻市役所 介護保険課 地域包括支援センター)
10.26(水)	市町村長申立て実務に関する研修会(茨城県/社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会)
10.28(金)	法テラス茨城地方協議会 (法テラス茨城)
R5.1.16(月)	現任生活支援員研修会(社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会)
R5.1.20(金)	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会 (水戸家庭裁判所)

#### <契約状況>

ケース	前年度末	新規 契約	解約	本年度末
認知症高齢者	10名	2名	1名	11名
知的障害者	3名	2名	1名	4名
精神障害者	5名	1名	1名	5名
計	18名	5名	3名	20名



#### <契約者居所>

居所	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
在宅	8名	3名	5名	16名
施設	3名	1名	O名	4名
病院	O名	O名	O名	0名
グループホーム	0名	O名	O名	0名
計	11名	4名	5名	20名
生活保護受給者(再掲)	(8名)	(1名)	(2名)	(11名)
書類預かり(再掲)	(1件)	(1件)	(1件)	(3件)

#### (5)成年後見制度事業【新規】

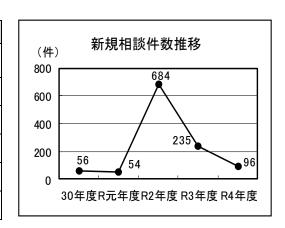
- ・中核機関定例会と成年後見制度利用促進協議会に延べ 12 回参加し、関係機関との情報共有を図りました。
- ・法人後見事業の実施方法などを学ぶため、牛久市社会福祉協議会及び古河市社会福祉協議会を視察しました。
- 茨城県成年後見制度担当者研修会や市町村長申立て実務に関する研修会など成年後 見制度に関する研修会に延べ6回参加し、担当職員の知識向上に取り組みました。

#### (6)生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

新たに一時生活支援事業を加え、住居に不安を抱える生活困窮者を対象に、関係機関 と連携し安定した生活への移行のための支援を行いました。

#### <相談支援実績>

内 容		実件数	延件数
自立相談支援事業		96 件	456 件
生活团	寛者自立支援法に基立	づくサービス	ス等利用
	住居確保給付金	8件	32 件
	就労準備支援事業	1 件	9件
	家計改善支援事業	8件	99 件
	一時生活支援事業	4件	44 件



## (7)学習支援事業(市受託事業)

#### ①寺子屋

- マスク着用や手指消毒、検温、人数制限等の感染防止対策を徹底して行い、毎週月曜日の通常開催の他、宿題お助け隊として8月の夏休み期間中に週3回実施しました。
- タブレット2台を導入し、学校の宿題のほか、YouTube 等を活用した学習に取り組みました。

内容	実人数	延人数
利用者	25名	173名
ボランティア	15名	95名

開催回数	
49 🗆	

#### ②にこにこ学習塾

- 市内在住の生活保護世帯、就学援助費受給世帯の中学1年生から3年生を対象に受験や定期テストに向けた学習支援を行いました。
- ・申込のあった3年生14名のうち9名が志望校に合格しました。 ※5名は通塾等の理由で途中終了
- ・茨城県社会福祉協議会の助成金を活用し、持ち帰りのできる飲み物やパンなどの配布を行いました。(13回実施)

内 容	実人数	延人数
利用者	19名	225名
ボランティア	21名	134名

開催回数	
37 🛭	

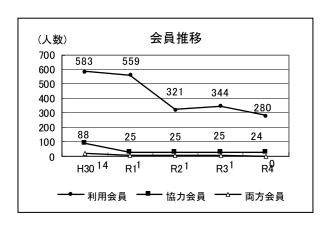
#### 2. 地域福祉活動推進部門

#### (1)ファミリーサポートセンター事業(うえるきっず含む)市受託事業

- 事業紹介用のパンフレットを全戸配布し周知に努めました。
- •協力会員研修会、及び交流会を開催し活動しやすい環境を整えました。

#### <会員状況>

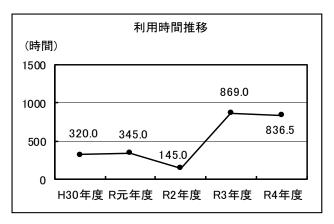
会員	前年度末	増	減	本年度末
利用会員	344名	20	84	280名
協力会員	25名	0	1	24名
両方会員	1名	0	1	0名
計	370名	20	86	304名



## <ファミサポ:利用実績>

内容	利用時間
時間内	835.5 時間
時間外	1 時間
割増	〇時間
計	836.5 時間

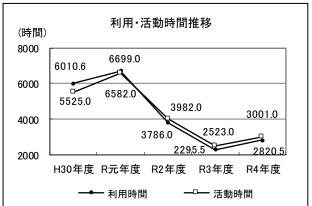
※利用会員宅又は協力会員宅での お預りのサービス



## くうぇるきっず:利用・活動実績>

内容	時間数
利用時間	2,820.5 時間
活動時間	3,001.0 時間

※託児室(下妻公民館 1F)での お預りサービス



## <利用内容及び件数:ファミサポ・うぇるきっず合算>

内容	件数
保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	2 件
放課後学童クラブからの児童の迎え及び預かり	89 件
学校休みの時の預かり(夏休み・土日など)	204 件
協力会員自宅預かり後うえるきっずでの預かり	19件
保育園入所前の援助	129件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	95 件
他の子供の学校行事の場合の援助	84 件
保護者等の買い物等外出の場合の援助	116件
産後の育児援助	117件
合 計	855 件

#### <協力会員定例会>

開催	会 場	内 容	参加
R4年4月19日	うぇるきっず託児室	共通理解と意見交換	11名
R5年3月14日	うぇるきっず託児室	共通理解と意見交換	11名

#### <協力会員研修会および交流会>

開催	会 場	内 容	参加
R4年7月5日	下妻公民館	感情コントロール	41名
R4年7月12日	日光東照宮	協力会員交流会	26名
R4年11月1日	下妻公民館	救命救急	18名
R5年1月31日	下妻公民館	感染症予防	16名





「ファミサポ通信」

「あおぞら・ファミサポ協力会員交流会」

#### (2)地域子育て支援事業

前年度に引き続き、防災イベント「わくわくみんなの防災ハロウィン2022」を、市内の子育でに関連する団体等と協働し開催しました。今回は中学生や高校生を中心とした若年層を対象に"楽しみながら防災を学ぶ"をテーマに規模を拡大して実施し、高校生ボランティアの参加や吹奏楽部の演奏、また消防署や自衛隊の協力のもと、多くの方に来場いただきました。(来場者数715名・学生協力49名・スタッフ100名)



運営スタッフと協力団体のみなさん

#### (3)乳幼児発達相談事業(ポーテージ発達相談事業) 一部市補助事業

• 個別指導:毎月 5 回の指導日を設け実施し、相談予定日に来られなかった親子に対しては、臨時の相談日を設け対応しました。

また、年度後半は相談者が多かったため、予備日を設け対応しました。

• 集団指導:子どものそれぞれの発達に寄り添い、年齢、国籍、障がいの有無に関わらず、共に育つことを目的として指導を行いました。

開催内容		実施回数	実利用者
	第1木曜	12 🛭	
	第2木曜	12 🛭	O4 Ø
   個別相談	第3金曜	12 🛭	31 名 (新規相談者 15 名)
	第4水曜	11 🗆	(1)11/30/12/32 1 2 23
	第4木曜	11 🗆	
	予備日:第2水曜	3 🗆	
集団指導	第1.2.3.4火曜	46 🛭	親9名・子ども 14名

#### (4)在宅福祉サービスセンター事業(あおぞらサービス)市受託事業

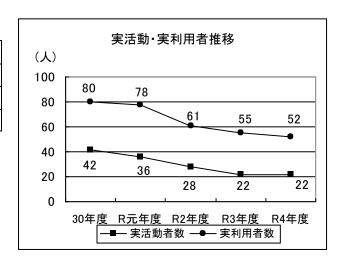
協力会員の資質向上や増員を目的として、ファミリーサポートセンター事業と合同で研修会および交流会を実施しました。また新規会員として協力会員 2 名、利用会員 16 名の登録がありました。

<研修会・交流会>【ファミリーサポートセンター事業合同開催】

	開催	内 容	参加人数
R4	11月1日	救命救急	18人
R5	1月31日	感染症予防	16人

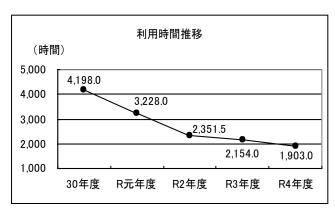
#### <会員状況>

	利用会員	登録会員	68名			
		実利用者	52 名			
	協力会員	登録会員	65 名			
	励り云貝	実活動者	22名			



#### <利用状況>

内 容	計
家事支援	1,793.5時間
話し相手	76.5時間
通院介助	17.5時間
その他	15.5時間
合計	1,903.0時間



#### (5)高齢者見守り事業

ひとり暮らし高齢者を対象に、心のふれあいを目的に季節感のある絵手紙などを届けました。

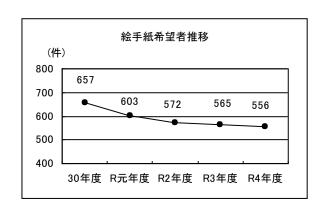
#### 【ふれあいお届け事業】

#### ①絵手紙

実施月	件数
8月	274 件
12月	282 件
計	556 件

- ※書き損じハガキを活用
- ※ボランティアサークルの協力により作成
- (絵手紙クラブ コスモス・千代川さくら・

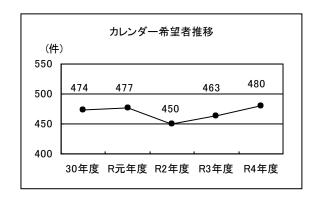
大宝すみれ・ふれあい交流会 宮田さん) 上妻公民館ちぎり絵教室(夏のみ協力)



#### ②社協オリジナルカレンダー

実施月	件数
12月	480件

※民生委員児童委員協議会にご協力を いただき配布しました。



#### (6) ささえあい推進事業

①サロンや集いの場開催に際し、感染拡大防止に向けた注意を促しました。

<ふれあいサロン開設状況> 概ね 65 歳以上の高齢者対象

サロン名称	地区	会員数	回数	延べ参加人数
小友会	小野子	13名	400	291名
坂本いきいきサロン	坂本	7名	100	48名
いきいきサロンさぬま	長塚	8名	90	64名
サロン陽だまり	大宝	37名	1 🗆	9名
比毛サロン	比毛	14名	60	54名
鎌庭西菊寿会	鎌庭西	16名	-0	-名
食と健康サロンin三新	三道地	28名	-0	-名
上宿お楽しみ会	上宿	20名	90	125名
横根スクエアステップの会	横根	12名	180	105名
稲穂の会	平川戸	15名	180	104名
大宝スクエアステップの会	大宝	10名	9 🗆	80名
通いの場 おれんぢ会	小野子	7名	22 🗆	93名
さくら会(障害者の会)	市内	-名		休 会

新規2ヶ所 退会1ヶ所

## <子育てサロン開催状況>

サロン名称	会場	回数	延べ参加人数
ひまわり会	リフレこかい	90	61名
親子サークルひまわり	勤労青少年ホーム	120	199名

## <社協主催 スクエアステップ教室>

場所	会員数	回数	参加人数(延べ)
砂沼荘	52 名	39 🗆	660 名
リフレ こかい	12名	10 🗆	68 名
千代川公民館	38 名	18 🛭	391 名

#### <ふれあいいきいきサロン連絡会・研修>

サロン代表者と個人登録ボランティア合同交流会を開催し、各サロンでも開催 できる健康づくり教室を体験してもらいました。

#### (7)小地域福祉活動推進事業

- ・ 社協主催の介護予防教室から地域住民が主体的に活動するサロン活動への移行、新規 サロンの立ち上げ等、地域の居場所づくりや支え合い活動を支援しました。
- ・地域住民主体の防災訓練を、行政と連携し次年度開催に向け支援しました。

## 3. 助成金交付事業

#### (1)地域福祉助成事業

社協広報紙、チラシ、ホームページを活用し事業の周知を図りました。

#### ① <助成実績>

時期	No.	申請事業	団体名	決定額
	1	春の女子会 2022	Shi ♡ Shimai (しし まい)	200,000円
第1期	2	地域活性イベント事業	ハンドメイドサークル 陽だまりマルシェ	200,000円
	3	お囃子の伝承と地域を元気にする事業	福代地自治会&福代地お 囃子会	200,000円
	1	蓄電池購入と防災訓練	鎌庭新宿自治区	200,000円
第2期	2	ガイドレシーバー購入事業	下妻いいとこ案内人の会	200,000円
	3	自主防災会 資機材整備	高道祖新町自主防災会	200,000円
			計	1,200,000円

#### ②下妻市防災ラジオ購入助成金事業

下妻市が実施した防災ラジオの頒布に際し、市民の購入負担金の軽減措置として、1 台につき 1,000 円の助成を行いました。

助成単価	件数	総額
@1,000円	128 件	128,000円

#### (2) 地域福祉活動支援事業

住民同士が参加・協力して取り組む住み良いまちづくり事業を行う団体並びに当事者団体活動の支援を目的に助成金を配分しました。

#### <助成実績>

No.	申請事業	決定額
1	総上納涼盆踊り&屋台村	100,000円
2	とばのえ子ども夏まつり事業	100,000円
3	たまり場ゆい運営事業	90,000 円
4	かみつま朝市事業	100,000円
5	心身障害児者父母の会レクリエーション事業	71,000 円
計		461,000円

#### (3)活動助成事業

地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び下記の各団体に助成金を配分しました。

#### <団体助成金>

助成先	件 数	金 額
支部社協	8件	1,813,000円
自治区長連合会	1件	317,580円
民生委員児童委員協議会	1件	246,000円
合 計	10件	2,376,580円

## 【ボランティアセンター事業】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、講座・交流会、各種イベントを開催しました。ボランティアセンター事業の存在と事業内容を広く周知するため、ノベルティを作成し、イベントや交流会、福祉教育において配布しました。

また、善意銀行では「きずな BOX」(食品回収ボックス)を増設し、誰もが寄付をし やすい環境を整え、フードバンク事業の周知を強化し、生活困窮世帯の他、就学援助費 や児童扶養手当を受給されている子育て世帯への支援に役立てました。



ボランティアセンター事業ノベルティ





フードバンク事業きずな BOX

# 1. ボランティア活動事業

## (1)相談・登録・広報啓発

## ①ボランティア登録状況

	種別	団体数	会員数
登	個人	_	59名
録	団体	24団体	519名
把握	(届出)団体	12団体	837名
	計	35団体	1,415名

#### ②ボランティアの相談・登録・紹介

内容	件数
ボランティア活動希望	9件
ボランティア活動依頼	6件
講師・指導者の紹介	O件
福祉教育支援•他	31件
活動者相談•情報提供	15件
保険・物品・その他	23件
計	84件

#### ③広報・啓発

- ノベルティグッズの作成や広報紙等を通じ、 ボランティアセンターをPRしました。
- ・学校での福祉教育やイベントの場において災害ボランティアセンターをPRしました。

開催	内容	対 象	参加
6月21日	東部中学校「防災教室・災害 VC PR」	2 学年生徒	107名
10月25日	大宝小学校「防災教室・災害 VC PR」	4学年児童	32名
10月29日	わくわくみんなの防災ハロウィン VC PR	一般参加者	715名
11月10日	下妻小学校「防災教室・災害 VC PR」	6 学年児童	102名
11月27日	下妻市総合防災訓練「災害 VC PR」	一般参加者	98名
12月10日	盲導犬に会いに行こう!親子バスツアー+防災館 災害 VC PR	小学 3~6 年生親子	22名
12月13日	大宝小学校「防災教室・災害 VC PR」	6 学年児童	34 名

## (2)ボランティア活動助成事業

<ボランティア活動助成>

申請者	助成件数	助成額
サークル	7団体	210,000円
学 校	12校	395,000円
ボ連協	1団体	50,000円
計	20件	655,000円

※ボ連協:下妻ボランティア連絡協議会 (10 サークル加入)

#### <ボランティア活動保険助成>

種別	加入者数	助成額
登録団体・個人 加入者	388名	77,600円
把握団体・個人 加入者	802名	_
計	1,190名	77,600円

#### (3)ボランティア育成事業

・共に生きる力を育む福祉教育の一環として、小学生親子を対象とした外出型の福祉教育を企画し開催しました。また、地域課題への対応力を強化するため、初級日本語ボランティア養成講座や移送サービスに関わる講座を開催し、地域のために活動するボランティアの育成に努めました。

開催	講座名	場所	対 象	人数
8月6日~ 12月10日	初級日本語ボランティア養成講座 全 10 回 講師: (公財)茨城県国際交流協会 地域日本語コーディネーター 内田ちひろ 氏	下妻公民館	下妻市・八千 代町の在住・ 在勤の一般	20名
9月14日	移送サービス養成講座 講師:茨城福祉移動サービス団体連絡会 早瀬 務 氏	下妻公民館	75 歳以下の 一般	8名
12月10日	盲導犬に会いに行こう!親子バスツアー + 防災館	(公財)東日本盲導犬 協会栃木県防災館	小学 3~6 年 生親子	22名



初級日本語ボランティア養成講座



盲導犬に会いに行こう!親子バスツアー

・下妻ボランティア連絡協議会の会員交流事業として「砂沼を歩こう会」及び「こんなことやってまーす会」を開催しました。また、市内で個々に活動をしている個人登録ボランティアと、いきいきサロン代表者を対象とした合同交流会を開催しました。

#### く交流会>

開催	講座名	内容	参加
10/23	交流会 砂沼を歩こう会	対 象:下妻ボランティア連絡協議会員 会 場:砂沼および福祉センター砂沼荘 主 催:下妻ボランティア連絡協議会	95名
2/26	交流会 「こんなことやってまーす」会	対 象:下妻ボランティア連絡協議会員 会 場:下妻公民館 2 階 大会議室 主 催:下妻ボランティア連絡協議会	70名
3/9	合同交流会 「健康づくり講座」	協 力:(株)明治 対 象:個人登録ボランティア・サロン代表者 会 場:福祉センター砂沼荘	23名



ボ連協 交流会 各サークルの 活動内容紹介の様子



個人登録ボランティア・サロン代表者 合同交流会

## 2. 福祉教育支援事業

下妻市のハザードマップを基に河川洪水氾濫に関する防災教室(マイ・タイムライン作成)や、地震災害を想定したクロスロードゲーム等、防災学習を実施しました。

また、SDGs の学習の一環として、限りある資源を大切に使おうとする気持ちを育てるため、エコ箸づくりを行いました。

【市内幼稚園 1 校、小学校 8 校、中学校 1 校で実施】

種別	7177 1	手話	点字	シニア	車仏	盲導犬	昔語り	講話	その他	計
実施件数	3	3	4	1	2	3	4	4	5	29 件
体験者数	128	121	187	85	72	112	222	132	356	1,415名
∨協力延数	8	23	25	10	19	3	4	_	14	106名



クロスロードゲーム(6年生)



エコ箸づくり(4年生)

## 3. 善意銀行

## (1)善意銀行

預託金	使途内容	件数	金額
寄付金	地域福祉のために	36 件	1,360,758 円
未使用切手	地域福祉のために	2件	2,963円 分

種類	使途内容	預託件数
古切手	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターへ寄付し、アジアやアフリカの医療従事者派遣に役立てられます	126件
書き損じハガキ	官製ハガキに交換し、ひとり暮らし高齢者へ絵手紙を届けます	18件
預託品 (未使用タオル、 大人用紙おむつ他)	必要としている事業所・施設、個人に提供し、役立てら れます	61件

## (2)フードバンク事業

フードバンクの周知強化のため、紙面・SNS での広報の他、NPO 法人フードバンク 茨城と提携し、「きずな BOX」(食品回収ボックス)を市内 9 か所に設置し、誰もが 気軽に寄付をできる環境を整えました。

また、食品ロス削減の観点から、市内外の企業より食品提供のご協力をいただきました。

#### <寄付の状況>

	寄 付			
個	(	102 🛭		
(株)セ	ブンイレブン・ジャパン	1 🗆		
ヤマダ	ダイ(株)	1 🗆		
NPO	法人 フードバンク茨城	3 🛮		
㈱カス	スミ 市内4店舗	24 🗆		
	市役所本庁舎	10 🗆		
<b>±</b>	市立図書館	13 🗆		
きず	下妻公民館	21 🗆		
な	大宝公民館	10 🗆		
В	千代川公民館	12 🗆		
0	福祉センター砂沼荘	5 🗆		
X	(株)TAIYO	7 🗆		
	JA 常総ひかり下妻支店	4 🗆		
	JA 常総ひかり下妻千代川支店	4 🗆		
	<u>=</u> †	217 🗆		

#### <配布先の状況>

配布先	件数•回数
個人	269 件
市内児童福祉施設	19 🛮
お茶 NOMA	9 🗆
にこにこ 294 セット	2 🗆
子どもフードパントリー	1 🗆



寄付された食品の一部

#### 食糧支援(にこにこ・セット)

長期化するコロナ禍で生活に困窮する要保護・準要保護世帯、児童扶養手当を受給するひとり親世帯等を対象に、夏休みと冬休み前の2回、食糧品等の配布を行いました。食糧品については、企業・団体、市民の方々からの寄付の他、赤い羽根共同募金や県社協助成金を活用して購入し、当日は配布会場においてイベントも実施しました。

開催回	対象者	配布件数	協力企業・団体	主な配布物
第4回	要保護•	119 世帯	4 企業・13 団体	米、パン、卵、日用品、 インスタント食品、文房 具
第5回	要保護・ 準要保護・ ひとり親世帯	195 世帯	5 企業・11 団体	米、ホールケーキ、卵、 インスタント食品、菓子







配布した食糧品

配布した食糧品

配布日当日の様子

#### 4.災害ボランティアセンター事業

- •「災害時における協力体制に関する協定」を、しもつまライオンズクラブおよび株式会 社ダイナムと新たに締結しました。
- ・災害ボランティアセンター運営訓練においては、協定を締結した3団体、災害ボランティア、行政及び社協理事等に参加協力を依頼し、発災時に連携・協働できる関係づくりに努めました。
- ・小、中学校で行う福祉教育において、災害ボランティアセンターの周知に努めました。



運営訓練の様子



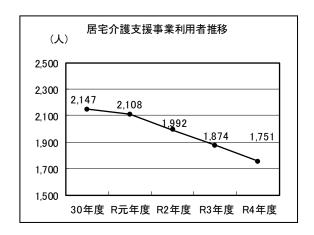
運営訓練における講話

# 【介護保険等事業】

#### 1. 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業

- 相談契約件数は例年と変わらなかったが入院等の理由により給付費請求に至らないケースが多くありました。
- 積極的な研修参加により介護支援専門員としての資質と専門性の向上が図られました。

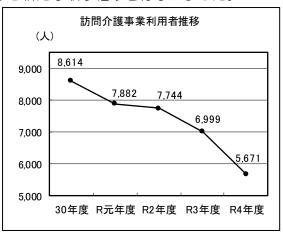
区分	延べ利用者
要支援 1	105名
要支援 2	138名
要介護 1	385名
要介護 2	439名
要介護 3	410名
要介護 4	193名
要介護 5	81名
計	1,751 名



## 2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

- 人員減少から提供可能時間が減り、新型コロナ感染症関連の影響も加わり大幅な減少となりました。
- •WEBミーティングの開催やSNSの活用など新たな取り組みを行ないました。

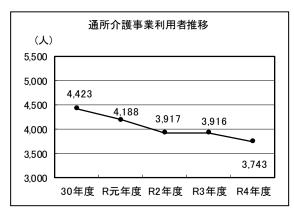
区分	延べ利用者
要支援 1	265 名
要支援 2	524名
要介護 1	507名
要介護 2	1,461 名
要介護 3	992名
要介護 4	1,049名
要介護 5	873名
計	5,671名



## 3. 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業

- ・新型コロナ感染による事業休止や利用控えなどの影響から実績は減少しました。
- 介護支援専門員や家族と連携を図り利用率の向上に努め柔軟な対応に取り組みました。

区分	延べ利用者
要支援 1	0名
要支援 2	182名
要介護 1	893名
要介護 2	1,188名
要介護 3	1,008名
要介護 4	470名
要介護 5	2名
計	3,743 名

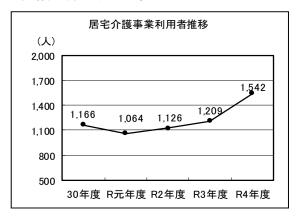


# 【障害者総合支援事業】

## 1. 居宅介護事業

- 相談支援員と連携を図り利用実績が増加しました。
- 自立支援を念頭に利用者のニーズに合わせた支援を行いました。

区分	延べ利用者
区分 1	0名
区分2	53 名
区分3	383 名
区分 4	540名
区分 5	103名
区分 6	463 名
児童	0名
計	1,542名



## 2. 重度訪問介護事業・行動援護事業

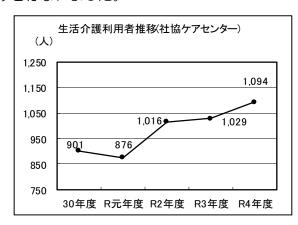
・両事業とも対象となるケースがなく、実績はありませんでした。

## 3. 生活介護事業

<社協ケアセンター>

- 利用回数や臨時の対応など柔軟な受け入れを行い利用実績が増加しました。
- 個々の趣味を生かした余暇活動の取り組みを行ないました。

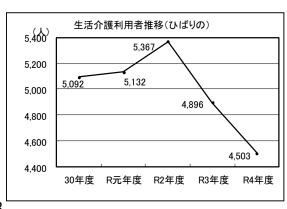
区分	延べ利用者
区分 1	0名
区分 2	5名
区分 3	244 名
区分 4	124名
区分 5	329名
区分 6	392名
計	1,094 名



#### <ひばりの>

・退所者やコロナに感染された方がいた影響により、延べ利用者数が減少しました。

区分	延べ利用者
区分 1	0名
区分 2	0名
区分 3	302名
区分 4	1,456 名
区分 5	1,240 名
区分 6	1,505 名
計	4,503 名



## 4. 相談支援事業

対象となるケースがなかったため、実績はありませんでした。※平成30年度から令和4年度までの実績はありません。

## 5. 障害者日中一時支援事業

・特別支援学校等の長期休暇期間及び 休日等に一時的預かりの実績はありませ んでした。

